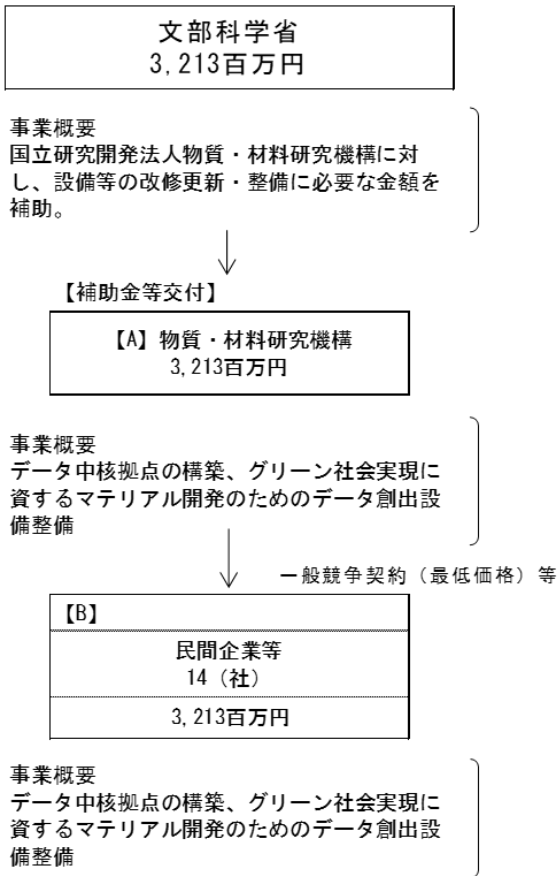


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国立研究開発法人物質・材料研究機構設備整備費補助			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)		参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当) 宅間 裕子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立研究開発法人物質・材料研究機構法第15条			関係する 計画、通知等	第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-1 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-07.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	物質・材料研究の水準の向上を図るため、常に良好な研究環境を維持、整備していくことを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	蓄電池・半導体・量子・バイオ等の産業・研究開発の基盤であるマテリアル分野では、近年新興国の強烈な追い上げを受け研究革新・強化が急務となっている。マテリアル分野における世界トップレベルの成果やイノベーション創出のために、NIMSにおいても新たな計測・解析手法の導入や老朽化設備の更新を適切に実施することにより、共用設備基盤としての魅力を高めていくことが必要。また、昨今の急激な電気料金の高騰の影響を受けて、共用設備事業を安定的に運営する体制確保が喫緊の課題。						
事業概要 (5行程度以内)	物質・材料研究機構は我が国唯一の物質・材料研究を専門とする研究機関として、物質・材料科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発等の業務を総合的に行うことにより、物質・材料科学技術の水準の向上を図ることを目的に研究活動等を実施している。そのために必要な設備の整備を行う。【補助率:定額】						
事業概要URL	https://www.nims.go.jp/						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	5,167	3,172	2,519	2,100	
		令和5年度第1次補正予算				2,100	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	5,167	3,213	2,519	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 5,167	▲ 3,213	▲ 2,519	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	5,126	3,213	4,619	-	
	執行額(G)		-	5,126	3,213		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]			162%	128%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		研究開発推進費				
		(目)	国立研究開発法人物質・材料研究機構設備整備費補助金				
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		研究活動の水準の向上を図り、常に良好な研究環境を維持、整備するため、施設・設備の改修・更新・整備を重点的・計画的に実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究環境の維持、整備	設備設置の件数	活動実績	件	－	4	3	－	－
				当初見込み	件	－	5	3	2	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	アウトプット「研究環境の維持、整備」の活動指標「設備設置の件数」の達成により、短期アウトカム「研究成果等の創出」の定量的な成果指標「査読付き発表論文数」の増加に向けた相乗効果につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		研究成果等の創出	査読付き発表論文数 * 平成28年度からの毎年平 均値	成果実績	件	1,319	1,362	1,377	－	
				目標値	件	1,100	1,100	1,100	1,200	
				達成度	%	119.9	123.8	125.2	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		NIMS調べ								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	アウトプット「研究成果等の創出」の活動指標「査読付き発表論文数」が増加することによる研究成果の創出が、中期アウトカム「イノベーション創出に資する優れた知的財産の創出」の定量的な成果指標「外国特許出願数」の増加に向けた相乗効果につながる。なお、実用化された製品についてはグローバル市場における販売が想定されるため、外国特許の出願を重視し、特許性や市場性等を考慮しつつ、費用対効果の観点から厳選して出願・権利化を行う。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		イノベーションの創出に資する優れた 知的財産の創出	外国特許出願数	成果実績	件	126	138	145	－	
				目標値	件	100	100	100	100	
				達成度	%	126	138	145	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		NIMS調べ								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	中期アウトカム「イノベーション創出に資する優れた知的財産の創出」の定量的な成果指標「外国特許出願数」を増加させることにより、長期アウトカム「研究成果の実用化のための民間企業へのライセンス」の定量的な成果指標「実施許諾契約件数」の増加に向けたグローバル市場を見据えた特許ポートフォリオの形成につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 11 年度	
		研究成果の実用化のための民間企業 へのライセンス	実施許諾契約件数(新規・継 続を合わせた総数)	成果実績	百万円	142	147	146	－	
				目標値	百万円	90	90	90	120	
				達成度	%	157.8	163.3	162.2	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		NIMS調べ								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。
なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
設備整備費	データ中核拠点の構築、グリーン社会実現に資するマテリアル開発のためのデータ創出設備整備	3,213	設備整備費	材料データプラットフォーム2.0AIアプリケーションシステム等の構築	1,341
計		3,213	計		1,341

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

